

○ASEANの枠組みにおける農水省の取組

- 2021年5月、「みどりの食料システム戦略」を策定。（アジアモンスーン地域の新しい持続的な食料システムの取組モデルとして提唱）
- 2021年7月に東南アジア各国（7か国）と共同文書に合意。（同月の国連食料システムサミットのプレサミットにおいて、共同文書を紹介）
- 2021年10月、持続的な食料システムの構築などがASEAN+3農林大臣会合及びASEAN+3首脳級会合の共同声明に記載。

<東南アジア各国との共同文書の概要>

- 持続的な農業生産と食料システム達成の重要性を共有
- 化学農薬使用量の削減方法など目標に至るための万能な解決策はない
- 上記の達成にはイノベーションの強化が必要で、民間投資の促進、共同研究、二国間やマルチの協力を深化



<今年度の実績>

ASEAN+3農林大臣会合 (AMAF+3)

○ 持続的な食料システムの構築への貢献として26のプロジェクトを提案し、承認された。

プロジェクト例：

- 東南アジアにおけるスマート農業実証事業
- ASEAN地域の大学と連携した食産業人材育成促進事業
- 農作物の高付加価値化のためのコールドチェーン確立と農業のデジタル化にむけた調査研究 (ERIA)

ASEAN+3首脳会談

○ 持続可能な食料システムの構築を促進していくことが記載。

<次年度以降の方向性>

協力の深化

- ① 持続可能な農業の構築
- ② 気候変動への対応
- ③ スマート農業の推進
- ④ 官民連携

○ASEAN+3農林大臣会合高級事務レベル会合(2021年)で示した協力案件の例

①東南アジアにおけるスマート農業実証事業

<タイにおけるスマート農業実証事業>

【目的】タイにおける日本企業のスマート農業技術の実証・事業展開への支援を通し、タイで展開の有効性や課題・障壁・解決方法を明らかにすることより、日本のスマート農業技術の海外展開促進し、タイ農業の課題解決につなげる

- 【事業内容】
- 参加企業が検討しているタイでのスマート農業の実証内容や事業展開の戦略・構想及び要望事項を日タイ両国の官民が参加した日タイ政府間協議(ワークショップ)で発表。今後の展開に向けた課題などについて官民を交えて議論を実施
 - 日タイ政府間協議(ワークショップ)での発表に対するタイ政府からのフィードバックを受け、参加企業は今後の実証や事業展開等の検討を実施。検討結果に基づき、日タイ両政府が各種支援を実施(実証圃場の調整等)
 - 企業が要望する場合、タイ現地農家・企業等を対象とした普及支援説明会を開催

12社が実証参加企業としてエントリー
Overview of participant companies

ASINPHOTO (Healthy) 31st Green 2021 Cassava Mosaic Disease (CMD) detection by drone	Asia Hensone 21/20th Concession Strawberry cultivation technology using IT green house	ITbook Technology 21st Green 2021 Integrated environmental control IoT for facility horticulture	SERAKU 21st Green 2021 Livestock management data collection/analysis service Environmental monitoring/controlling system utilizing IoT
UENO'S BEST TECHNOLOGY 21st Green 2021 Data based smart pig farming technologies	Saigri 21st Green 2021 Automatic agricultural land division technology	Mikawa Genki Monoculture 21st Green 2021 Growth diagnosis by remote sensing, spraying of fertilizers & pesticides using drone	Hyper Agri 21st Green 2021 New growth control technology using ionized water
LABORERS' DREAM 21st Green 2021 Rabbit husbandry and breeding technology Monitoring/production optimization technology for multiple fields Data-driven breeding technology	Topoon 21st Green 2021 Auto steering system of tractors (growth sensor (GPS/GNSS))	Scala-DAIWA COMPUTER 21st Green 2021 Crop production history database construction technology using QR codes/NFC tags and smartphones	NHON NONHAGIANT DATA CO. 21st Green 2021 AI based pest and weed diagnose technology

2月下旬:
タイ側の政府関係者、関心のある企業団体等を集めて、各企業の技術や実証内容を紹介するワークショップを実施。

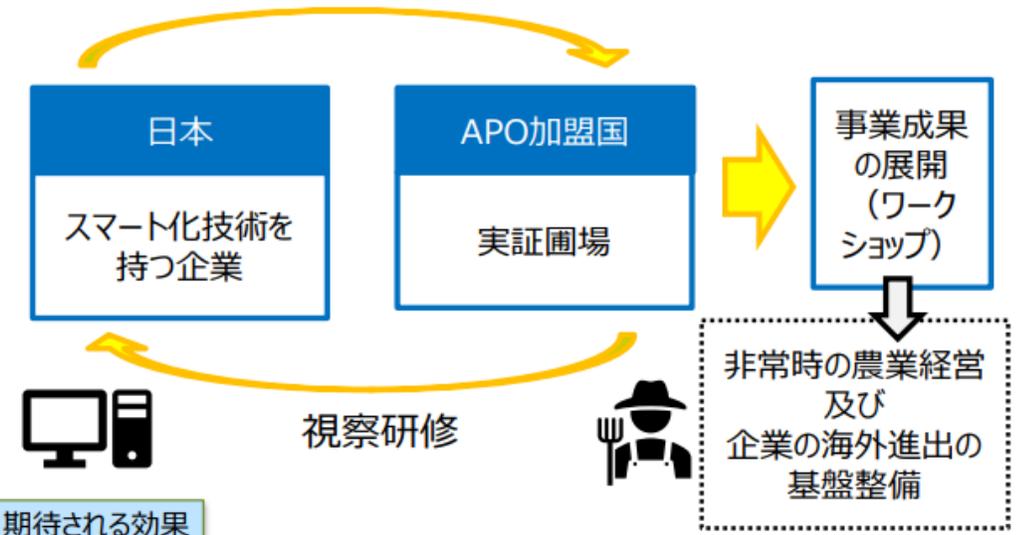
次年度: 実証事業の本格実施に向けて、パートナーとのマッチング、圃場の確保などを実施。

次年度以降:
実証参加企業等によるタイでの事業展開

<アジアの新興国におけるスマート農業実証事業(APO拠出金)>

<事業イメージ>

専門家派遣による指導・オンラインモニタリング及びリモート指導



- 期待される効果
- 地域の産業が発展し、世界の食料安全保障が確保され、貧困の撲滅が促進される。
 - アジアモンスーン地域の持続的な食料システムの取組モデルとなるスマート農業体系を構築する。
 - 非常時(新型コロナウイルスのような感染症の蔓延等)において、継続して作業・取引・指導等が行えるよう基盤が整備される。

【現状と今後の展開】
2月～: APOによる加盟国への公募開始。
次年度: APOの選定プロセスを経て、実証実施国、内容等の決定。

② アセアン地域の大学と連携した食産業人材育成促進事業

【令和4年度予算概算決定額 104 (109) 百万円】

<対策のポイント>

食産業の海外展開に資する現地の担い手の育成と日本発の食品規格の国際標準化を促進するため、アセアン地域の主要大学等において、学生及び現地民間企業等を対象とした、農産物・食品のバリューチェーンに関する専門講座、食品規格や関連する技術を含めた研修の実施を支援します。

<事業目標>

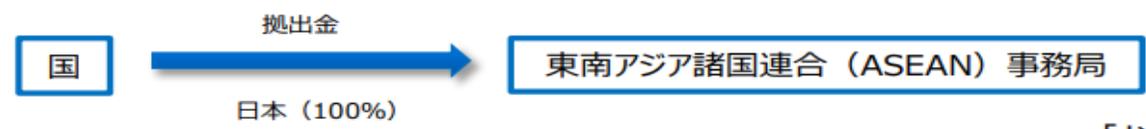
- 4か国以上で、農産物・食品のバリューチェーン関連の学部生・院生を合計50人以上養成 [令和5年度まで]
- 4か国で現地食品事業者等による日本の標準・規格の理解・活用を促すことにより、現地の課題解決に貢献するとともに各国との関係を強化 [令和5年度まで]

<事業の内容>

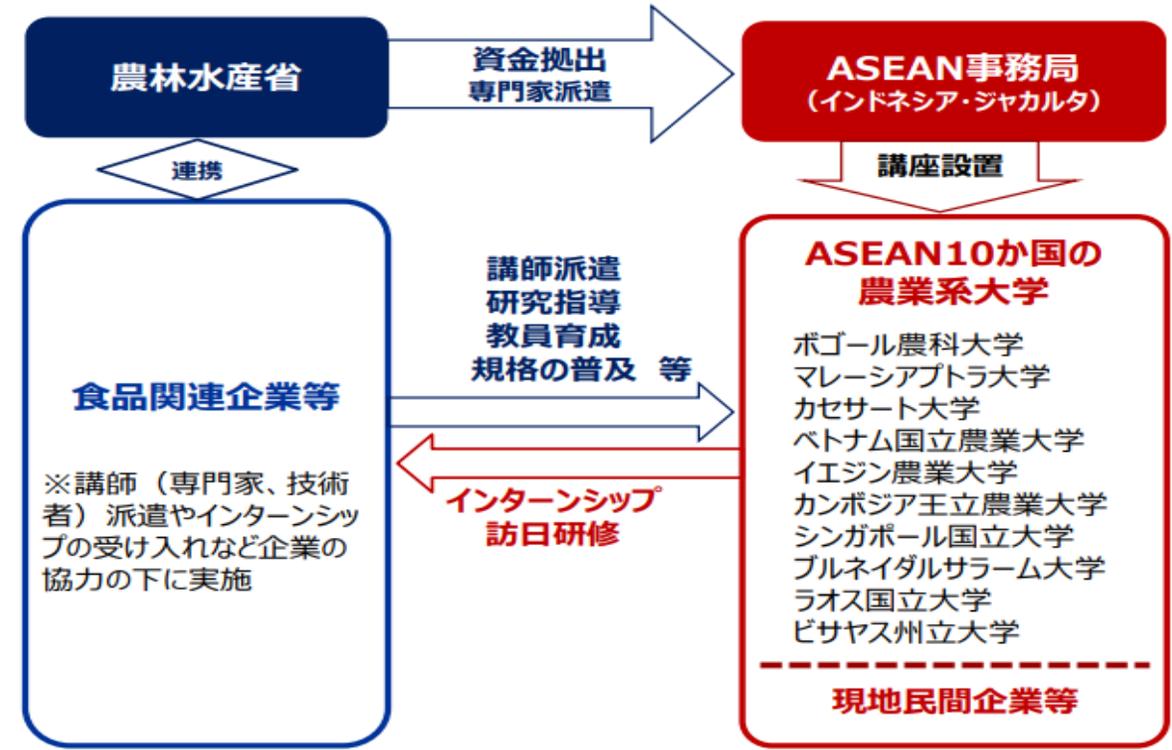
アセアン諸国の連携大学等での専門講座等の実施

- ① アセアン諸国の連携大学に農産物・食品のバリューチェーンに関する専門講座を開講し、日本の民間企業等の協力の下、種苗生産から食品の加工流通、消費に至る分野（種苗、農業、食品加工、流通、外食産業、マーケティング、食文化、農業、金融、環境対策、分析技術、食品安全管理、食品規格等）について、事業継続計画の策定等新型コロナウイルス感染症対策を含む実践的な学習、研究活動を支援します。
- ② 連携大学等において現地民間企業や政府機関等も対象に、日本が先行する分野の試験方法規格（JAS）、日本発の食品安全管理規格（JFS）等に関する講義、実習等を提供します。また、新型コロナウイルス感染症の動向にも配慮し、現地での研修をより効果的に行うため、実習動画コンテンツの作成、大学教員に対する研修を実施します。
- ③ アセアン諸国からのニーズに対応し、企業との共同研究やインターンシップを支援、さらに優秀な成績の学生等を日本に招いて研修等を行います。

<事業の流れ>



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】 輸出・国際局国際地域課 知的財産課 (03-3502-5913)
大臣官房新事業・食品産業部食品製造課 (03-6738-6444) 3
(03-6744-2096)

<対策のポイント>

東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）に我が国専門家を派遣し、持続的な食料システム構築にあたっての課題や方策に関する調査・分析を行い、成果を共有することで、対象国の持続可能な経済発展と、我が国の食品関連企業の持続可能な輸入原材料調達の実現に寄与します。

<政策目標>

- (1) アセアン+3農林水産大臣会合を通じたアセアン10か国との成果共有
- (2) 我が国食関連企業との成果共有
- (3) 国際的な環境議論における我が国の取組の発信

<事業の内容>

1. 持続可能な食料システム構築のための調査・分析

- ERIAに我が国の専門家を派遣し、持続可能な食料システムの構築に向け、経済的・環境的・社会的な側面からの持続可能性を考慮し、関連する法制度や政策、阻害要因や課題の特定と分析、課題解決に向けた提言を行います。

2. ワークショップの開催等による成果の共有、アセアン関係者の意識、能力強化

- 各国の関係者とワークショップを開催し、関係者の持続可能な食料システム構築に向けた問題意識の強化、能力向上を図ります。

3. 提言を通じた成果の還元

- 成果は、アセアン+3農林大臣会合における報告・政策提言、アセアン事務局を通じた各国研究機関等への成果共有及び対象国や我が国食関連企業関係者と共有します。

これらを通じて、持続可能な経済発展に貢献するとともに、我が国の食品関連企業の持続可能な輸入原材料調達の実現に寄与します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】 (1) 輸出・国際局国際地域課 (03-3502-5913)
 (2) 輸出・国際局国際戦略グループ (03-6738-6155)

【参考】ASEAN+3農林大臣会合高級事務レベル会合(2021年)で示した協力案件について(その1)

ASEAN協力戦略分野			
No.	事業名	財源、予算区分	対象国
Strategic Area 1: Strengthening Food Security			
1	ASEAN版責任ある農業投資ガイドラインの実施のための学習・認定プログラムの作成	JAIFプロジェクト	ASEAN全域
Strategic Area 2: Biomass Energy Development			
2	バイオエネルギー及び副産物利用による循環可能性分析事業	国際再生可能エネルギー機関 (IRENA) 拠出金	東南アジア数カ国
3	ASEAN地域における農業共同体と農村発展のためのバイオマス・エネルギーの進展プロジェクト	JAIFプロジェクト	タイ・ベトナム・マレーシア・インドネシア
Strategic Area 3: Sustainable Forest Management			
4	国際森林ガバナンス強化事業	FAO拠出金	東南アジア数カ国
Strategic Area 4: Climate Change Mitigation and Adaptation			
5	気候変動対策のための炭素貯留推進事業	FAO拠出金	全世界
6	先進技術を活用した農業用排水施設の強靱化や農業用水の適切な管理を通じた効率的な水利用の推進による安定した食料システムの構築と気候変動に適用した地域創成	ODA予算	アセアン全域
7	ASEANライスネットのためのJAIF能力構築プログラム	JAIFプロジェクト	アセアン全域
Strategic Area 5: Management of Animal Diseases and Plant Pests			
8	アジア太平洋地域における越境性植物害虫の進入・拡大防止のための能力向上	FAO専門家派遣	アジア太平洋地域
9	農産物を輸出するための実践的植物検疫技術(ミバ工類殺虫技術)コース	JICA(研修)	カンボジア、ミャンマー、フィリピン、タイ、ベトナム等
10	東南アジア本土における侵略性害虫トマトキバガの対応に関する調整改善と能力強化	JAIFプロジェクト	
Strategic Area 6: Enhancement of Capacity-building and Human Resource Development			
11	アジア・アフリカ地域の農民組織の能力向上及び日本の食関連企業との連携支援事業	ASEAN拠出金	アセアン全域
12	アセアン地域の大学と連携した食産業人材育成促進事業	ASEAN拠出金	アセアン全域
13	CLMVの水利用組織におけるほ場灌漑管理の開発及び促進に関する優良事例の共有	JAIFプロジェクト	カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム
14	アセアン-JICA東南アジアにおける違法操業業対策人材育成プロジェクト	JICA(第3国研修)	アセアン全域

【参考】ASEAN+3農林大臣会合高級事務レベル会合(2021年)で示した協力案件について(その2)

ASEAN協力戦略分野			
No.	事業名	財源、予算区分	対象国
Strategic Area 7: Enhancement of Productivity, Quality and Marketability of Agricultural Products			
15	アセアン地域における持続可能な農業推進のための調査支援事業	AFSIS拠出金	アセアン全域
16	東南アジア地域におけるポストコロナのフードバリューチェーン開発のための基礎情報収集調査	JICA	アセアン全域
Strategic Area 8: Strengthening of Information and Knowledge Networking and Exchange			
17	東南アジア地域持続的水産業推進事業	SEAFDEC拠出金	アセアン全域
18	東アジア植物品種保護フォーラム	UPOV拠出金	アセアン全域
19	アセアン地域におけるフードバリューチェーンの構築	JICA (技プロ)	ベトナム、ミャンマー、インドネシア、カンボジア、フィリピン、タイ
20	日・アセアン連携によるGAP認知度向上推進事業	ASEAN拠出金	アセアン全域
21	農産物高付加価値化推進によるアセアン各国内への影響分析事業	ERIA拠出金	アセアン全域
22	東南アジアにおけるスマート農業実証事業	農水省+APO拠出金	アセアン全域+タイ
Strategic Area 9: Strengthening Collaboration on Research and Development			
23	アジア地域の水田におけるGHG削減等に関する総合的栽培管理技術の開発	農水省	フィリピン、ベトナム、インドネシア
24	「知」の集積と活用場	農水省	シンガポール、タイ(今後、アセアン全域)
25	家畜資源の回復力と持続可能性に関するASEANバイオテクノロジー研究者の能力構築	JAIFプロジェクト	アセアン全域
26	大メコン地域における戦略作物キャッサバ侵入病害虫対策に基づく持続的生産システムの開発と普及	JICA&JST (SATREPS)	タイ、カンボジア、ベトナム

【参考】第21回ASEAN+3農林大臣会合共同プレス・ステートメント(その1)

1. 第21回ASEAN+3農林大臣会合は、インドネシアの議長の下、ヴァーチャル会議形式で2021年10月27日に開催された。
2. 我々は、ASEAN+3協力戦略(APTCS(アプティクス)) 2016-2025における、食料安全保障の強化、バイオマスエネルギー開発、持続可能な森林管理、気候変動の緩和及び適応、動植物衛生と疾病管理、能力開発と人材育成、農産物の生産性・品質・市場性の向上、情報システム・知識ネットワークと交流の向上、研究開発の戦略分野の取組の進展に満足している。
3. 我々は、ASEAN+3緊急米備蓄(APTERR(アプター))協定の下での実施状況を評価し、新型コロナウイルス感染症の影響下で緊急事態にあるカンボジア、ミャンマー、フィリピンに対する日本と韓国からの5,029トンのコメの抛出に係る取組を評価した。我々は、地域の食料安全保障支援におけるAPTERR(アプター)の役割拡大・強化の提案に留意し、APTERR(アプター)理事会に対して、メンバー各国からのコメントに配慮し、同提案への勧告を提供するように要請した。
4. 我々は、ASEAN+3食料安全保障情報システム(AFSIS(アフシス))の進捗、特に食料安全保障情報システムと人材育成に関する地域の能力強化に留意した。我々は、5つの商品作物(コメ、とうもろこし、サトウキビ、大豆及びキャッサバ)の現状と需給見通しに関してASEAN各国への手引きとなる農業商品作物アウトルック報告書と早期警報情報の作成・公表を歓迎した。
5. 我々は、域内の食料、農林業への投資が世界標準を満たし、持続可能な責任ある開発を促進することを確保するための食料、農林業への責任ある投資促進のための実行戦略行動計画(ASEAN(アセアン)-(一)RAI(ライ))の実施のための支援を評価した。
6. 我々は、農村と地域開発のための持続可能なバイオマスエネルギーについてのASEAN戦略2020-2030及び食料と農業分野におけるデジタル技術利用促進ガイドラインを歓迎した。

【参考】第21回ASEAN+3農林大臣会合共同プレス・ステートメント(その2)

7. 我々は、農業分野へのデジタル技術の適用、農林業分野の気候変動への適応と緩和に対する自然を基盤とした解決策の適用及びバイオマスエネルギーにおける循環型経済の促進のために、ASEAN+3各国が、革新的で持続可能な農業生産と食料システムの達成のための地域活動において協力を強化することを推奨した。同時に、これらの目標に至るための万能な解決策はなく、各国の状況に合わせて取り組むものであることを認識する。

8. 我々は、日中韓各国による食料及び農林業におけるASEAN+3協力の向上に向けた継続的な支援とコミットメントに対し謝意を表した。

9. 我々は、東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA(エリア))によるASEANにおけるフードバリューチェーン強靱化とコールドチェーン開発のためのデジタル技術の利用に係る研究事業の成果を歓迎した。また、我々は、食料と農業分野におけるデジタル技術の利用促進ASEANガイドラインの作成に対するERIA(エリア)の知的支援を評価した。

10. 我々は、第22回AMAF(アマフ)+3会合を2022年にラオスで開催することに合意した。

11. 我々は、第21回AMAF(アマフ)+3会合に際し、インドネシア政府による見事な会合運営に心からの謝意を表した。

参加閣僚リスト(略)



【参考】ASEAN関連首脳会合に関する議長声明等の農業関連分野について

Japan-ASEAN: Progress Report on Japan's Cooperation for the ASEAN Outlook on the Indo-Pacific (抜粋)

<Food Systems>

A14. Projects under the Joint Statement on Sustainable Agricultural Production and Food Systems

(Funds provided through MAFF of Japan, JICA and JAIF)

The Joint Statement on Sustainable Agricultural Production and Food Systems adopted in July 2021 recognizes the crucial importance of sustainable agricultural production and food systems regarding farmers in ASEAN countries facing difficulties due to regional particularities with regard to agricultural production. Japan will support ASEAN countries based on the Joint Statement, which stresses the importance of international collaboration to introduce innovative and sustainable agricultural practices and technologies such as digital tools, machineries and pest control tools under the support of MAFF of Japan, JICA and JAIF.

ASEAN+3: CHAIRMAN'S STATEMENT (抜粋)

13. We acknowledged the progress made in the implementation of the ASEAN Plus Three Cooperation Strategy (APTCS) 2016-2025 and looked forward to the convening of the 21st Meeting of the ASEAN Ministers on Agriculture and Forestry Plus Three (AMAF+3). We called for the enhancement of APT cooperation in ensuring food security particularly in the post-pandemic period, including through the full and effective utilisation of the ASEAN Plus Three Emergency Rice Reserve (APTERR) and the ASEAN Food Security Information System (AFSIS), **to overcome possible food shortages as well as strengthen the resiliency and sustainability of regional food supply chains and logistics system by working closely together to ensure that markets are kept open, value chains are sustained and transportation of agricultural and food products, as well as implemented are facilitated. We also encouraged to further enhance cooperation to achieve innovative and sustainable agricultural production and food systems.**

East Asia Summit(EAS): CHAIRMAN'S STATEMENT (抜粋)

Food Security

25. We reaffirmed our commitment to implement the Declaration of the 8th EAS on Food Security and reiterated the importance of further enhancing food and nutrition security through the implementation of the new ASEAN Integrated Food Security (AIFS) Framework and the Strategic Plan of Action on Food Security (SPA-FS) 2021-2025. We expressed support for the work of the ASEAN Ministers on Agriculture and Forestry (AMAF) in **ensuring sustainable food systems and implementing climate-smart agriculture that will strengthen the capacity of ASEAN to address the impact of climate change on food production in the region.**